

【3－1】日常生活支え合い実践事業

食のハートキッチン便実験事業 配達部門強化事業 (池田町)

基礎情報

実施地域 池田町
実施主体 池田町
所在地 今立郡池田町藪田5－3－1
代表者 町長 杉本博文



平成23年度の事業概要

生活支援及び弁当配達のための車輛整備

生活に支障のある高齢者等を対象に栄養改善と見守り強化を目指し弁当の配達部門を強化するため、ボランティアによる配達チームを立ち上げ車輛を購入した。

実利用者 24人

延べ配食数 935食

生活支援ニーズ調査の実施

現在の活動状況

- ・実験事業は、行政主導により行ったため様々な問題点が明らかとなり、行政としては事業を一旦休止した。しかし、実行委員会において参加した民間事業者において、食事の配達を基本とした支援策を検討したいとの申出と提案を受けたので、現在の利用者のフォローと伴に支援策を模索している。
- ・町と連携し、生活支援のしくみ構築企画会議等を実施。民間事業者の財源において、事業の実施を検討している。

事業の実績、成果

高齢者等の栄養改善と、見守り強化につながった。配達員も町民からの募集により行ったことで福祉意識の向上につながった。

単に弁当の配達だけでなく、配達員との顔みしりの関係ができたことで心の安心につながり、聞き取り調査によると個々に様々な潜在的な生活支援のニーズがあることがわかった。

工夫した点

- ・ボランティア（有償）による配達体制
- ・配達員と利用者とのコミュニケーション
- ・生活支援ニーズ調査の実施



事業の財源

平成23年度地域支え合い事業補助金で車輛を購入。
現在のフォローは民間事業者において負担。
平成24年度安心生活創造事業において、池田町にあった買い物支援策の実施体制を検討中。

課題

- ・事前の調査においても、事業で行った生活支援ニーズ調査においても潜在的なニーズはあるものの、おのおのが家族や地域の支援策を持っているためか、お金をだしてまで頼むほどではないという住民性からか、利用者が少なくしくみとしてまわらない。
- ・継続性のある取組みとしていくための財源、人材、民間活力など
- ・人口の少ない町での取組みとして課題は山積している

今後の目標

事業実施を踏まえ、池田町総合生活福祉支援事業として取組みを行っていく。
地域性、住民のニーズ、住民が漠然と持っている潜在的な不安等に対して支援していく体制を構築していく。

団体からのメッセージ

年をとっても「池田町に住み続けることができる町」を目指した仕組みづくりに、一人でも多くの方の協力をお願いします。